

6月の知事選

川勝氏再選へ出馬

会見で「総合計画に全身全霊」

川勝平太知事(64)は22日、県庁で開かれた定例記者会見で、眞知事選(5月30日告示、6月16日投票)に再選を目指して出馬することを表明した。川勝氏は、県内の経済界、連合静岡、市民グループから出馬要請を受けたことなどにも言及しながら「力強い支持、熱い気持ちに触れ、ふじのくにづくりの途上で身を引くことは許されない。総合計画の達成に向け、強い決意を持って出馬する」と述べた。知事選には自民党が擁立した三島市出身の広瀬一郎氏(57)と多摩大教授の退職届を提出し、立候補を表明している。



知事選に出馬を表明する川勝氏＝県庁

川勝氏は、4年前に掲げたマニフェスト(公約)は「富国育徳の理想郷」ふじのくに「づくり」を基本理念に掲げた10年間の総合計画に継承されていると説明。これまで目標の8割はできているとし「残り6年を2年前倒しして、4年で完遂する」と決意を示した。「静岡県が日本全体の役に立ち、全国モデルとなるよう、これまで以上に立

派な知事になったと言われるよう全身全霊をささげる」とも語った。人材育成に向けて教育に特段

の力を入れ、教育県として人材を輩出する枠組みづくりに取り組んでいく姿勢を強調した。

1期・4年を振り返り、新たな取り組みとして「伊豆は一つ」の考えのもとで伊豆半島をジオパークにすることに取り組んだほか、食材など静岡県の特産品を自覚し、引き出すことに努めたことなども説明した。自己評価については「県民がすること。県民に委ねたい」と語った。

選挙戦は超党派による支援を受けていく考えで、「党派に彩られない応援体制をつくらねばならない。勝手連的に応援してほしい」と語った。